

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 米子白鳳高等学校

重点項目	特別支援教育	提出日	平成31年2月12日
------	--------	-----	------------

1 学校目標

多様な学習歴やニーズを持つ生徒の学習を支援し、社会で共生する資質と自立の基盤となる能力・態度を育む。

- 1 学ぶ意欲の喚起・育成
- 2 心豊かに他と共生する態度の育成
- 3 社会的自立への支援

2 重点項目に係る目標

【特別支援教育の充実】

特別支援教育の視点から、学校全体で生徒を育てるという意識を持ち、生徒の情報を共有し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育支援員、白鳳サポーター、関係機関などと連携した手厚い支援体制を組み、困り感を可能な限り軽減して、学習に取り組めるように支援し、不登校を解消することができる。

【自己理解の促進】

生徒自身の自己理解を進めるような生徒向け講演会を行い、自己理解を促す。また、1年次の4月当初には、集中的にグループワークを行い、春先の人間関係をうまく築けないための不適応を予防するためのクラスの雰囲気作りを行う。また、スクールカウンセラーによる「ストレスマネジメント」や「新入学生徒面談」を行い、さらに、年間を通してグループワークを行い、「安心できる居場所としてのクラスの仲間作り」をすることで、不登校を解消することができる。

【連続性のある一貫した支援の充実】

中学校や関係機関と連携し、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用しながら、一人一人の個に応じた連続性のある一貫した支援を充実することができる。

【個に応じた進路指導】

進路指導主事、キャリアアドバイザーなどの校内支援体制に加え、若者サポートステーション、障害者就業・生活支援センターしゅーとなどの外部機関とも連携して、きめ細かく支援・指導することで、より多くの生徒が個々の適性に合った進路を決定することができる。

【通級による指導における内容の充実】

定時制課程において、平成29年度に高等学校課より「高校における通級による指導」のモデル校の指定を受け、調査・研究を進め、平成30年度前期に見立てなどの準備を行い、後期から「自立活動」（自校通級）の指導を開始した。対人関係・コミュニケーション等に困難さを感じている生徒は、その困難さを軽減し、克服することができる。

【通級による指導の通信制への導入】

定通併修により2020年から通信制の生徒へも対象を広げられるように、制度整備を行う。同様の困難さをかかえる生徒は、その困難さを軽減し、克服することができる。

<数値目標>

平成30年度 「自立活動」を教育課程に位置づけて一部実施（定時制課程1・2年次）

平成31年度 「自立活動」を本格実施（定時制課程2・3年次）

2020年度 「自立活動」を本格実施（定時制課程2・3年次、通信制課程2・3年次相当）

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

○高校における特別支援教育充実事業

（1）職員研修会（年3回）

県外大学関係者および専門機関の専門家を講師に実施

- ・ 7月 島根大学教育学部 原 広治教授
- ・ 9月 岡山大学教育学部 吉利 宗久准教授
- ・ 11月 国立特別支援教育研究所 牧野 泰美主任研究員

[H30実績]

- ・「QUの1年生分析と支援検討会」SC
- ・「QUの2年生分析と支援検討会」SC
- ・「QUの3年生分析と支援検討会」SC
- ・「仁摩高校における通級による指導について」

島根県立高等学校特別支援教育コーディネーター

（2）生徒向け講演会（年1回）

定時制課程生徒対象で県外の専門教職員を講師に実施

- ・対象生徒：定時制課程生徒 講師：松江市立小学校教諭

[H30実績]

- ・「じぶん、まる！～ひとりじゃないよ。じぶんでいいよ～」
セクシュアルマイノリティのこどもたちの居場所づくりの会代表

（3）先進校視察（年4回）

長崎県、神奈川県、東京都、青森県の高等学校への視察

- ・県立佐世保中央高等学校（長崎県）
- ・私立星嵯高等学校（神奈川県）
- ・東京都チャレンジスクール2校程度
- ・県立北斗高等学校（青森県）

[H30実績]

- ・平成30年度高等学校における通級による指導実践研究協議会（兵庫県）
- ・兵庫県立西宮香風高等学校
- ・兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課
- ・茨城県立茎崎高等学校

（4）若者サポートステーション職員による相談

定期的な訪問による生徒対象の進路相談や講演会を実施（年間18回）

- ・定時制・通信制水曜日生 月2日 5時間 年間18日
- ・通信制日曜日 月1日 5時間 年間9日

[H30 1月実績]

- ・18回実施 337件の相談（サポステ事業（中退者情報）を含む）

【独自事業】

○学ぶ意欲育成事業

- ・白鳳サポーター

島根大学で臨床心理学を専攻する大学院生に定期的に来校してもらい、生徒の学習を個別に支援したり、生徒同士のコミュニケーションが円滑に行われるように支援する。

○豊かな心育成事業

- ・自己理解・他者理解

上記の高等学校課事業「高校における特別支援教育充実事業」で実施